岡本眸の夏の句

螢籠螢の死後も闇に置く

萬緑の仕上げの雨の五六粒

柚子青し握りしめたるあと青し

昼顔が咲いて半日失くしけり

一本の鉛筆の香の梅雨ごもり

松岡隆子抽